

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援（主に重心）ひだまりっこa
------	---------------------

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数 8名

回収数 7名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	8	0	0	0	無	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか。	8	0	0	0	無	言語聴覚士・理学療法士がおり、不定期で個別支援を行なっております。看護師及びスタッフは普段も継続してできるように、各先生から指導を受けています。また、音楽療法の資格を持ったスタッフも不定期で活動内で音楽療法を行っております。
	③ 生活空間は、子どもの状態に配慮した環境調整が行われているか。 事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮（手すりやスロープの設置等）が適切になされているか。	7	0	0	1	ベッドも用意されていて、子の体調によっても休めるスペースが配慮されている	ベッド3床配置しております。自力座位への姿勢変換ができるお子様はベッドは使用しておりません（転落防止）また、寝返りを打つお子様は再度レールや衝突・挟みこみ防止のために長いクッションを端に置いています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	0	1	無	環境温度につきましては温湿度計を使用し、主に室内熱中症に気をつけています。また24時間常時換気システムと、空気清浄機2台稼働しています。掃除は毎朝清掃員の方とスタッフ、業務の終わりにスタッフが清掃・消毒を行っております。
適切な支援の提供	⑤ 児童発達支援計画 ⁱ は子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、作成されているか。	8	0	0	0	無	面談にてニーズを伺ったり、相談支援専門員からの情報提供を鑑み、スタッフ会議にて検討し作成しております。
	⑥ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	7	1	0	0	無	担当保育士は朝に個別支援計画に目を通してから支援に入ることとしていますが、その日の活動予定によって、個別活動ができなくなったり、体調により休息に充てる日もございます。
	⑦ 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか。	7	0	0	1	無	年間計画に沿って、季節の行事等大切にしながら活動しております。個別支援計画の中で伸ばしたい所を意識して、集団・個別活動に取り組んでいます。
	⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	8	0	0	0	感染症が流行している時期だとドキドキします	ヴィヴァン新柏園・ヴィヴァン亀甲台園様と交流保育を定期的に行っておりますが、園とぶる一むの感染状況にて数回取りやめしております。これからも連絡を密にとり、流行期は無理せずとします。また、不参加にさせていただいても大丈夫です。
保護者への説明等	⑨ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	8	0	0	0	無	契約時にお時間をいただき説明させていただいておりますが、ご質問等ございましたらその都度お答えいたします。
	⑩ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ⁱⁱⁱ 等）が行われているか。	7	0	0	1	無	法人全体、児童部門に特化した研修会・勉強会・お話し会などのお便りを配布しております。ご興味のあるものにご参加いただければと思います。
保護者への説明等	⑪ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	8	0	0	0	無	連絡帳、写真のクラス便り、写真販売、送迎時の申し送りをさせていただいています。在宅でも継続して様子を見てほしいこと、取り組んでいただきたいこと、またお子様の細かな反応などお伝えできればと思っております。反対に保護者様の疑問や不安、相談に対応させていただきます。
	⑫ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	7	0	0	1	無	一年に2回の面談を行っておりますが、その他送迎時やお電話でのお話しや、臨時の面談も行いますのでお申し付け下さい。また、保護者様が相談しやすい雰囲気作りや信頼関係の構築をしております。
	⑬ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	8	0	0	0	無	今年度は先輩児童や保護者様にご参加いただき、インクルーシブスイーツを食べながら、特別支援学校の疑問に答える形で保護者会を行いました。その後、個コミュニケーションツールの一つ、視線入力「アイモット」の体験を児童及び保護者様にもご提供させていただきました。次年度も参加したいと思っております。よろしくお願いいたします。

	14	子どもや保護者からの相談や苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や苦情があった際に迅速かつ適切に対応されているか。	8	0	0	0	無	法人の苦情対応マニュアルに沿って適切かつ丁寧な対応を心がけます。言いにくい苦情は、匿名で出せる「投書箱」も玄関の靴箱の上にありますので、何かございましたらご利用いただければと思います。相談についてもその都度適切な返答ができるよう努めてまいります。
	15	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	8	0	0	0	無	連絡帳、写真のクラス便り、写真販売、送迎時の申し送りをさせていただいています。既読がわかるようなアプリを用い、お互いが連絡を取りやすいようにしています。
	16	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	8	0	0	0	無	事業所自己評価につきましては毎年一回ホームページ上で公表しております。また、月一回のお便りにて行事予定をお知らせしています。
	17	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	8	0	0	0	無	法人の個人情報保護規定に沿って活動しております。気をつけてお話しはしておりますが、場面場面で気になることがありましたら教えていただけましたら幸いです。これからもスタッフ一同、個人情報の取扱いには十分注意するよう周知していきます。
非常時等の対応	18	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。	8	0	0	0	無	緊急時対応・防犯（防災）・感染症対策マニュアルについては、ご契約時にご説明と資料の配布しております。また、aに特化した防災時（緊急時）マニュアルを作成し、aの入り口に貼付展示し、いつでも見ることができるようにしております。
	19	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	8	0	0	0	無	法人として年に一回防災訓練をしています（消防署来所していただき）。また、ひだまりっこ・ひだまりっこaは、隔月での避難訓練をしています。なるべくみんな参加できるように1週間毎日行っています。避難用具の選定や再考も行っています。また、児童部門研修会（スタッフ向け）では、毎年救急救命講習・窒息時の対応の二つをロールプレイングしています。参加率も90%以上です。
満足度	20	子どもは通所を楽しみにしているか。	7	0	0	1	無	今後ともお子様、ご家族、ご利用様が楽しんで通所できる事業を、安定して継続できるよう、スタッフ一丸となって頑張っておりますので、よろしくお願い致します。
	21	事業所の支援に満足しているか。	8	0	0	0	無	

★保護者様の声

●頻繁に注入の量やケアの仕方が変更になるにも関わらず、とても柔軟に対応して下さるので安心して通わせることができています。小さな不安や相談もいつも細かく聞いてくれてアドバイスしてくれます。日々の活動を細かく丁寧に連絡帳に記入して下さるので読むのがとても楽しみです！あるふあの親のみのグループLINEがあると嬉しいです。

●家庭では無理だと決めつけていたり、諦めていたことをひだまりっこaで沢山経験させていただき、いつも驚きと喜びがあります。安心して預けられる場所で、週に一回のひだまりっこaが、母の心の支えになっています。先生たちも優しく寄り添ってくれて、大好きな場所です。これからもよろしく願いいたします。

●いつも色々な経験をさせていただき、またどの先生からも愛情を感じられて、本当にありがたく通わせていただいています！本人も楽しそうに通っていて、4月の通所開始から本当にすごく成長したなと感じます。3月末までの利用となってしまうので、あと少しですが、引き続きよろしく願いします！

●いつもありがとうございます。

●LINEのメッセージでやり取りできるのが助かっています。連絡帳に通園児の様子を書いてもらい、ありがたいです。

以上

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

（注釈）

- i 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- ii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されています。
- iii 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。